

野原はうたう 工藤直子

一 教科書 14 ページ ～ 17 ページの四編の詩を声に出して読んでみよう。三回ずつ読み、○をつけよう。

	あしたこそ		一回目	
	おれはかまきり			二回目
	あきのひ			三回目
	いのち			

二 気に入った詩を一つ選び、どんなところが気に入ったのかを書こう。

気に入った詩↓

気に入った理由

三 気に入った詩を、教科書 18 ページ「音読するときには」の読み方に注意して読み、気付いた読み方の工夫を書こう。

ア 強く読んだ方がよいと思う所を抜き出そう。

イ 弱く読んだ方がよいと思う所を抜き出そう。

ウ その他、工夫した方がよいと思う読み方を書こう。

四 “三” で考えた音読の方法で工夫して読むことができたかを評価しよう。

〈評価する方法の例〉「録音して聞く」「自分の声を聴きながら読む」「家族に聞いてもらう」等

自分の評価

〈評価：A よくできた B だいたいできた C できなかった〉

花曇りの向こう 瀬尾まいこ

一 教科書26ページから32ページを音読し、「登場人物の気持ちの変化が最も表れている」と思う一文を選び、その理由も書こう。

- 選んだ一文↓
- その理由

二 一行あいているところを探し、場面ごとに教科書に数字を書きましよう。

【ヒント】

第一場面

31

「なんや、・・・」

第二場面

2

「おはよ。・・・」

第三場面

3

「こつちこつち、・・・」

第四場面

4

「いいねえ、・・・」

三 四つの場面の、それぞれの“時” “場所” “登場人物”を表に整理した次の表のあいているところをうめて完成させよう。

場面	時	場所	登場人物
第一場面	朝（登校前）		
第二場面	朝（登校後）		
第三場面		体育館	級友たち・僕・山崎君
第四場面			

四 辞書やインターネットを使って意味を調べよう。

ページ	調べる言葉	調べた内容
27	通算（つうさん）	
28	持て余す（もてあます）	
28	か細い（かほそい）	
28	はやる（はやる）	
29	やり過ごす（やりすごす）	
30	たどたどしい（たどたどしい）	
31	とどこおる（とどこおる）	

花曇りの向こう 瀬尾まいこ

○ 新出漢字と読みがなを五回ずついいねいに練習しよう。(書き順は教科書 296 ページを見て覚え
る)

花曇り はなぐも					
みそ汁 しる					
押さえる お					
僕 ぼく					
厄介 やっかい					
歓声 かんせい					
抑える おさ					
抜け落ちる ぬ お					
お菓子 かし					
幼稚園 ようちえん					
欲しがる ほ					
棚 たな					
俺 おれ					
振り返る ふ かえ					
提げる さ					

花曇りの向こう 瀬尾まいこ

一 四つの場面ごとの、「僕」の気持ちの変化についてまとめた次の表のあいっているとところをうめて完成させよう。

場面	様子・行動・会話	「僕」の気持ち
第一場面	○ 「胃が痛いんだ。」とおなかを押さえて… ○ …簡単にいくわけないだろ。	○ 転校することに気が重く、やる気が起きない。 ○
第二場面	○ 「おはよ。」とつぶやきながら教室に… ○ 今日も生ぬるい息をはいた。	○ 重苦しくうんざりとした気持ち。 ○
第三場面	○ 俊敏に体を動かした。 ○ ねらいを定めて、するどいボールを送った。	○ やれるだけやってみよう。 ○
第四場面	○ 「別に行きたくないけど…」 ○ みんながいるかもしれないから…反対方向の… ○ とどこおりそうな空気をふっ切るように、お菓子をかごに入れる	○ 気を遣うからみんなに会いたくない。 ○

二 第一場面で、「気が重そうな顔」をしていた「僕」が、最後に「あまずっぱい梅干し」をもつて歩いていた時の気持ちを想像して書こう。

初めは転校することに気が重かった「僕」だが、

と思うようになった。

漢字を確認しよう。

○ 新出漢字と読みがなを五回ずつていねいに練習しよう。(書き順は教科書 296 ページを見て覚え
る)

煎茶 せんちゃ				
墨絵 すみえ				
地殻 ちかく				
斬新 ざんしん				
奇異 きい				
税込み ぜいこ				
歩幅 ほはば				
勧告 かんこく				
華道 かどう				
揚げ物 あもの				
紹介 しょうかい				

(教科書 34 ページ・新しく習った漢字)

1 次の――線部の言葉を読もう。【漢字の読み】

- ① ア 汁粉と煎茶をいただく。 []
- イ 墨汁を買いに行く。 []
- ② ア せみの抜け殻を集める。 []
- イ 斬新で奇抜な意見だ。 []
- ③ ア 銀行で料金を振り込む。 []
- イ 感情の振幅が大きい。 []

漢字を確認しよう。

(教科書34ページ新しく習った漢字)

2 次の に合う漢字をへ へから選ぼう。【同じ音読みの漢字】

① カンへ飲・勧へ ア 告 イ 喜

② カへ華・菓へ ア 美 イ 茶

③ ヨウへ揚・陽へ ア 抑 イ 気

④ ショウへ紹・招へ ア 待 イ 介

(教科書34ページ小学校で習った漢字)

1 次の——線部の言葉を漢字で書こう。(必要ならば送り仮名を書こう。)

① こんなんに打ち勝つ。 「」

② てらん会に出品する。 「」

③ ふくつうで欠席する。 「」

④ 季節外れの雪がふる。 「」

⑤ ふとんをほす。 「」

2 次の に の部分をもつ漢字を書こう。【同じ部分をもつ漢字】

① ア かん 単に見つかる。

イ 政 さく を調べる。

ア 南極を たん 検する。

② イ 力を発 き する。